

令和 3 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	3
--------	---

担当課	上下水道課	担当課長	横山 正利			
事業担当者	河邊 昂士	一次評価者	平尾 勇			
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	下水道整備事業					
予算科目	2 款 1 項 1 目					
予算事業名	公共下水道事業会計					
総合計画での位置づけ(施策名)	住みよい生活環境をつくる					
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	下水道法、久山町下水道条例					
事業の対象	下水道事業計画区域内					
事業の目的	公共用水域の水質汚濁の防止及び地域の都市環境整備の促進					
実施期間	開始年度	平成 3 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	公共下水道の整備 全体計画面積 A=657ha 事業計画認可面積 A=456ha					
目的達成の指標(成果指標)	下水道整備面積					
	区分年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
	目標	ha	320	330	333	336
	実績	ha	326	328		
指標設定の考え方	下水道未整備地区の解消を目的としているため、整備面積を成果指標としている。					
計画時の懸案事項	下水道未整備地区を整備中であるが、既整備地区内においても地形等の問題により未整備家屋が残っている。					
計画時の懸案事項への対応	未整備箇所を洗い出したうえでリストを作成し、優先順位の整理を実施し、翌年度以降に予算を取得していく。					

# PLAN(計画)

No.2

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 15,740 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	1.44	1.17	1.17	1.17
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	11,018	8,399	9,240	9,240
事業費	直接事業費	138900	137100	136500	120000
	人件費	11,018	8,399	9,240	9,240
	合計	149,918	145,499	145,740	129,240
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	149,918	145,499	145,740	129,240
合計	149,918	145,499	145,740	129,240	

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目 標	138,900	137,100	136,500	120,000	120,000
実 績	137,665	127,388			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
下水道築造工事	千円	138,900	137,100	136,500	120,000
		137,665	127,388		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 14,669 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	1.44	1.17	1.17	1.17
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	11,018	8,399	8,215	9,240
事業費	直接事業費	137665	137100	127388	136500
	人件費	11,018	8,399	8,215	9,240
	合計	148,683	145,499	135,603	145,740
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	148,683	145,499	135,603	145,740
合計	148,683	145,499	135,603	145,740	

## 実施備忘録

--

# CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	河邊 昂士
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/>	町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/>	緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/>	実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/>	町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input checked="" type="checkbox"/>	町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/>	公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/>	民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/>	民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input checked="" type="checkbox"/>	久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性			
<input checked="" type="checkbox"/>	事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/>	外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/>	実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性			
<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	A
<input checked="" type="checkbox"/>	事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/>	A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)
<input checked="" type="checkbox"/>	B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)
<input type="checkbox"/>	C見直し
<input type="checkbox"/>	D廃止
<input type="checkbox"/>	E完了

C見直しの具体的内容	
<input type="checkbox"/>	実施方法の工夫
<input type="checkbox"/>	事業の効率化
<input type="checkbox"/>	受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/>	事業縮小
<input type="checkbox"/>	その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)
<p>本事業は、町民のよりよい生活環境の向上が図られるうえ、さらには公共用水質汚濁防止の観点から必要性が高いと評価した。</p> <p>前年度に詳細設計業務委託を実施し、現場に合った最も適切な工法で、かつ将来の維持管理が容易であり、安価な設計を検討したうえで事業を行っているため、有効性、効率性ともに高いと評価した。</p> <p>業務委託実施時、工事発注時に対象地区の関係者に、下水道の必要性や受益者負担金について説明し、同意を得たうえで整備工事を実施し、受益者負担金を納付してもらっているため、公平性、透明性ともに高いと評価した。</p>

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識
<p>令和3年度に意向調査を実施したが、下水道について知識が浸透していなかった。これは戸建住宅等の下水道整備を優先した結果、工場団地への整備が遅くなったため、浄化槽設置による下水道への関心が低下したものだと思われる。また受益者負担金についても、工場団地に土地を所有する企業は賦課面積が広いいため、整備について同意が得られにくいと想定される。</p>

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	平尾 勇
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	A
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

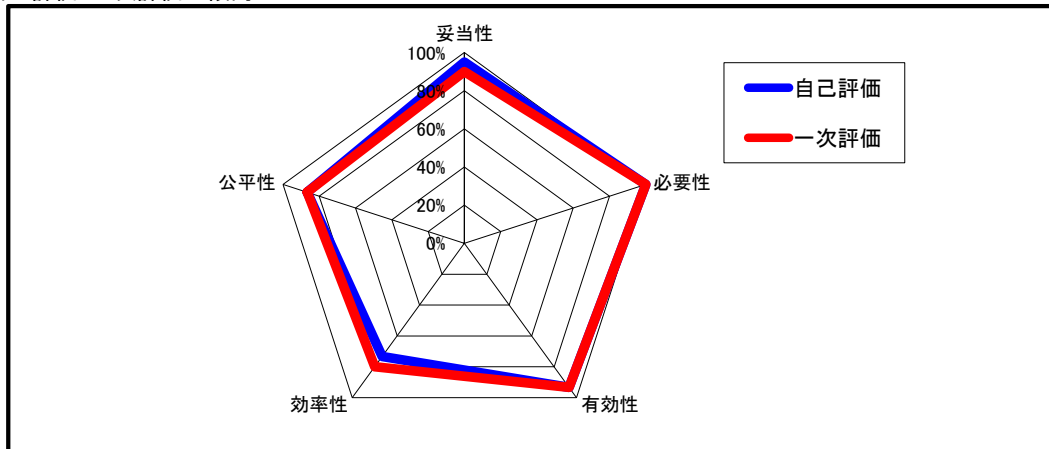
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input checked="" type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

## 一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

環境整備として取り組んでいる本事業は、公衆衛生の観点からも必要不可欠な施設となっている。住居系の整備がほぼ完了しており、今後は工場団地への整備に向けて取り組まなくてはならない。工場団地への意向調査も完了しており、整備方針をしっかりと定める必要がある。都市施設としてなくてはならない事業であり、今後も継続的に行わなくてはならない事業である。

## 自己評価・一次評価の傾向



## ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

横山 正利

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

下水道は生活環境改善や河川等の公共用水域の水質汚濁防止に寄与するなど重要な役割を担っており、普及促進に努めてきたところである。今後は住居系から工場団地等の整備に移行し、整備を一層すすめていく。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会  
で評価する。

月 日  
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり  
直し、  
月 日  
までに提出すること。

評価終了  
 外部評価へ

# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。 No.6

## 外部評価

今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの		C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価		外部評価委員の意見

## 経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性 A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの		C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る) <input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める) <input type="checkbox"/> C見直し <input type="checkbox"/> D廃止 <input type="checkbox"/> E完了	→	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

評価		経営者会議の結果

評価	令和 5 年度予算要求事項(今後の取り組み)